

個人情報の扱い方を知る

1年

活動名 学級活動 一つずつの大切なもの

実践者 旭町小学校 稲葉 裕子

1.平成18年 12月18日

2.ねらい

- ・ 個人情報とはどのような情報なのかを知る。
- ・ 個人情報の扱い方について知る。

3.活動の流れ

活動及び取り組みの流れ	支援
<p>「知らない人から電話がかかってきて、友だちの電話番号を尋ねられる」という人形劇を見る。</p> <p>自分だったら、どうするか考える。</p> <p>「電話番号を教えたら、いたずら電話がかかってくるようになった」という続きを見て、知らない人には悪い人もいることを知る。</p> <p>どのようにしたら、困ったことが起きなかったのかを考える。</p> <p>「断って教えず、無事だった」という成功版の劇を見る。</p> <p>電話番号や名前、家は一人一つしかない大切なものだと知る。</p> <p>知らない人の中には悪い人もいることを確認し、「大切なものはすぐに教えない」「教えるときは大人の人に聞いてから」と約束する。</p>	<p>「児童が一人で家にいるときに、知らない人から電話がかかってくる」という設定にし、実際にあった事例を元にして劇を作った。</p> <p>「悪口を言って切る」などの意見も、このときは注意せずに聞いた。</p> <p>「教えた電話番号の家では、とても困っている」という劇を見せることで、第三者に迷惑がかかることを伝えた。</p> <p>「悪口を言って切る」などの好ましくない対応の仕方については、この活動のときに劇をやって見せ、どんな危険があるのかを伝えるようにした。</p> <p>好ましい対応の仕方について、いくつか伝えた。その中の一つを選んで、劇を見せた。</p> <p>「個人情報」という概念を理解することは難しいので、「一人一つしか持っていないものは、とても大切。秘密と一緒にだよ。」と伝えた。「一人一つのもの」の話をするときに「命・家族」などの意見も出た。否定せず、同じく大切にしよう伝えた。</p>

4.この取り組みによって、子どもにどのような変化(成果)がありましたか。

このような事例が報告されたときには、朝の会などで気をつけるように話をしていたので、「電話番号を教えたらいけない」という意識はあった。しかし、名前や家の場所についてはあまり意識していなかったようだ。今回改めて、個人情報とはどんなものかを確認したことで、「個人情報を守る」ことについて、より意識するようになったと思う。また、断ることが苦手だった子ども、話し合ったり、劇で実際に言ってみたりしたことで、断ることに自信を持ったようである。